

Rapport

2024
Number

125

多摩大学 | 広 報 誌 |

Vol.125 Contents

令和 5 (2023) 年度秋学期 褒賞者	02-03
公式 SNS ご登録のお願い	03
令和 6 (2024) 年度 多摩大学入学式	04
新任教員紹介	05
【キャリアサポート】2023 年度 就職状況	06
令和 5 (2023) 年度 田村学園概要	06
都立秋留台高等学校、都立五日市高等学校と教育交流協定を締結	07
スイスの BHMS と学術提携	07
ジェロントロジー企画第 12 弾「山梨県南アルプス市で田植え体験 × 講座」.....	07
「奥多摩プロジェクト」	08
湘南キャンパスのカフェテリアがリニューアルオープン!	08

令和5(2023)年度秋学期 褒賞者

経営情報学部

[2023年度 秋学期 優秀学生賞]

① 各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生 ② 学業に対する取組が真摯で他の模範となる者

科目名	選出理由	学生氏名
ICTコミュニケーション実践	①	オン チョウサン
ICTコミュニケーション実践	①	高橋 彪
ICTコミュニケーション実践	①	鳥居 完太
ICTコミュニケーション実践	①	芳澤 直哉
ICTコミュニケーション実践	①	馬部 裕基
ICTコミュニケーション入門	②	太田 隼人
ICTコミュニケーション入門	①	高岡 希果
ICTコミュニケーション入門	①	與田 雄太
ICTビジネス入門	①	女部 藍琉
ICTビジネス入門	①	小貫 快斗
ICTビジネス入門	①	小山 彩乃
ICTビジネス入門	①	岸 彩乃
ICTビジネス入門	①	佐藤 虎太郎
ICTビジネス入門	①	鈴木 夏生
ICTビジネス入門	②	露崎 守
ICTビジネス入門	①	成田 涼介
ICTビジネス入門	①	花山 浩聖
ICTビジネス入門	①	パン メイケン
ICTビジネス入門	①	フウ カン
ICTビジネス入門	②	深澤 敬輝
ICTビジネス入門	①	藤間 南々子
ICTビジネス入門	①	松下 露魅王
ICTビジネス入門	①	山田 景斗
アジアユーラシア論	①	新井 健太
アジアユーラシア論	①	小松 優斗
アジアユーラシア論	①	チョウ ゲンメイ
アジアユーラシア論	②	チョウ ゲンメイ
アジアユーラシア論	①	徳田 唯香
アジア文化論	①	オン チョウサン
アジア文化論	①	高橋 類
アジア文化論	①	田所 優衣
アドバンスド・ライティング・スキル	①	飯塚 優介
アドバンスド・ライティング・スキル	①	コエル ミゾラ
アドバンスド・ライティング・スキル	②	佐川 航太
English Expression II	①	佐藤 虎太郎
English Expression II	①	平良 きよし
English Expression II	①	東條 裕羽
English Expression II	①	中田 寛人
English Expression II	①	成田 涼介
English Expression II	①	樋口 和花
インターンシップI	①	山田 伸
インターンシップII	①	落合 俊介
Web サービス開発	①	西出 嵐
Web プログラミング入門	①	五十嵐 虎香
Web プログラミング入門	①	農端 大和
NPO・NGO 論	①	オウ エキキ
NPO・NGO 論	①	福島 拓実
NPO・NGO 論	①	本田 隼大
華僑華人経済論	①	バ シンエイ
華僑華人経済論	①	浜木 彪我
韓国経済論	①	コウ スビョン
韓国語II	①	小山 紗
韓国語II	①	佐藤 美歩
韓国語II	①	下川 里織
韓国語II	①	宅間 詩織
韓国語II	①	樋口 心愛
韓国ビジネスコミュニケーションII	①	矢島 雅斗
キャリア・デザインII	①	大内 真士
キャリア・デザインII	①	大内 一輝
キャリア・デザインII	①	八田 詩鶴
教育相談	①	小山 孝美
金融論	①	大内 一輝
クリエイティブデザインII (3DCG)	①	大林 夢礼
クリエイティブデザインII (3DCG)	①	小山 孝美
クリエイティブデザインII (3DCG)	②	久永 裕太
グローバルヒストリー	①	女部 藍琉
グローバルヒストリー	①	齋藤 暖人
グローバルヒストリー	①	下川 里織
グローバルヒストリー	②	鈴木 啓太
グローバルヒストリー	①	高橋 蓮
グローバルヒストリー	①	成田 涼介
グローバルヒストリー	②	モウ レイ
経営科学	①	板垣 大地
経営科学	①	大内 一輝
経営科学	①	柳澤 孝彰
経営科学	①	ライ カン
経営科学	①	鷲尾 悠貴
経営管理入門	①	戸田 涼
経営管理入門	①	下川 里織
経営思想史	①	高橋 あんり
経営思想史	①	本田 隼大
経営情報特講	①	新井 健太
経営情報特講	①	佐川 航太
経営情報特講	①	田所 優衣
経営シミュレーションゲーム	①	唐澤 祐矢
原価計算	①	碓野 健介
原価計算	②	東郷 聖弥
現代米国論	①	齊藤 夏美
現代メディア論	①	柴田 優吾
国際ビジネス論I	①	井上 慶太郎
国際ビジネス論I	①	阪本 彩歌
コンピュータ概論	①	長谷 綾音
コンピュータサイエンス	①	西出 瑠人
財務会計	①	長谷 綾音
財務管理	①	新井 健太
財務管理	①	佐川 航太
財務管理	①	高見 秋美
事業戦略	①	伊藤 響
時事問題研究実践	①	飯塚 優介
時事問題研究実践	②	大林 愛礼
社会科学概論	①	齋藤 夏美
社会科学概論	①	佐川 航太
社会心理	①	岩間 大地
社会心理	①	小山 孝美
初級簿記	①	竹内 佑吾
消費心理	①	高橋 あんり
情報セキュリティ	②	井藤 海人
情報セキュリティ	①	牛込 将

科目名	選出理由	学生氏名
情報セキュリティ	①	柳澤 孝彰
情報法	①	田所 優衣
情報倫理	①	中野 諒
ショッピングセンター論	①	長澤 華山
図化技術概論	①	長澤 祐矢
スポーツI	①	高橋 大地
スポーツII	②	板垣 大地
スポーツI	①	井上 聖陽
スポーツI	①	花山 浩聖
スポーツI	①	山田 康陽
スポーツと健康	①	山田 康陽
スポーツと健康	①	長谷 綾音
世界の宗教	①	井上 保奈海
世界の宗教	①	高橋 あんり
先端情報技術概論	①	岩間 大地
先端情報技術概論	①	河輪 拓樹
先端情報技術概論	①	佐川 航太
多摩学	①	小山 紗
多摩学	①	関 望
多摩学	①	宅間 詩織
多摩学	①	成田 涼介
多摩学	①	平山 遥人
多摩学	①	藤間 南々子
地域観光論	①	新井 健太
地域産業論	①	新井 健太
地域スポーツ論	①	公保 綾太
地域スポーツ論	①	吉田 真央
地域政策プランニング	①	高橋 あんり
地域政策プランニング	①	竹中 海翔
中国ビジネスコミュニケーションII	①	チョウ イツシヨウ
中国ビジネスコミュニケーションII	②	山田 ゆい
中国語II	①	鈴木 未恭
中国語II	①	長南 燦輝
中国語II	②	野中 柊希
中国語II	①	村上 諒汰
データベースII (SQL)	①	高橋 奈央
データベースII (SQL)	①	西口 瑠人
データベースII (SQL)	②	山口 陽光
TOEIC II	①	岩間 大地
TOEIC II	①	柴田 優吾
特別講座II	①	竹中 海翔
特別講座II	①	ハシ セイ
特別講座II	①	吉田 柊飛
日本語講座上級	①	ハク ソヨン
日本語講座上級	①	パン メイケン
BE実践II (組協)	①	井上 慶太郎
ビジネススキル基礎	①	鈴木 大瑛
ビジネススキル基礎	②	遠山 穂
ビジネススキル基礎	①	名倉 穂花
ビジネススキル基礎	①	樋口 和花
ビジネススキル基礎	①	平山 遥人
ビジネススキル実践	①	関 望
ビジネススキル実践	①	松下 露魅王
ビジネス数学II (解析)	①	草刈 三結
ビジネス法	①	長谷 綾音
ビッグデータ・マーケティング	①	工藤 夏実
ビッグデータ・マーケティング	②	工藤 夏実
Practical English Conversation II	①	相間 羽斗
Practical English Conversation II	①	岩間 大地
Practical English Conversation II	①	上杉 恭介
プレゼミII	②	新井 健太
プレゼミII	②	漆畑 亮太
プレゼミII	②	老川 冬音
プレゼミII	②	オン チョウサン
プレゼミII	②	加藤 健太
プレゼミII	②	今野 凛々
プレゼミII	②	高橋 奈央
プレゼミII	②	徳永 賢人
プレゼミII	②	長田 華山
プレゼミII	②	林 龍翔
プレゼミII	②	古川 尚弥
プレゼミII	②	横田 晃大
プレゼミII	②	與田 雄太
Basic Office English II	②	岩間 大地
ベンチャー企業論	①	コウ スビョン
マーケティング・データ分析	①	高橋 奈央
マーケティング・データ分析	①	竹中 海翔
マーケティングマネジメント論	①	佐藤 虎太郎
マーケティングマネジメント論	①	高橋 あんり
マーケティングマネジメント論	①	吉田 真央
ミクロ経済学	①	紗 紗
ミクロ経済学	①	小志 昂大
ミクロ経済学	①	鈴木 夏生
ミクロ経済学	①	関 望
ミクロ経済学	①	高橋 あんり
ミクロ経済学	①	成田 涼介
ミクロ経済学	①	樋口 心愛
ミクロ経済学	①	藤間 南々子
ユーザインタフェース	①	井上 保奈海
ユーザインタフェース	①	大谷 聖
ユーザインタフェース	①	加藤 健太
ユーザインタフェース	①	河輪 拓樹
ユーザインタフェース	①	柴田 優吾
ユーザインタフェース	②	柴田 優吾
ユーザインタフェース	②	西出 瑠人
ユーザインタフェース	②	縫田 優人
ユーザインタフェース	②	山本 在恩
余暇マネジメント	①	余暇マネジメント
余暇マネジメント	①	余暇マネジメント
余暇マネジメント	①	余暇マネジメント
ライティング・スキル	①	佐藤 虎太郎
ライティング・スキル	①	ショウ エイ
ライティング・スキル	①	樋口 和花
ライティング・スキル	①	深澤 敬輝
ライティング・スキル	①	藤間 南々子
ライフ・デザイン	①	藤田 優衣
歴史学実践	①	大隈 悠真
ロシア経済論	①	佐藤 綾

※科目名50音順

【2023 年度 最優秀学生賞】 大学在学 4 年間を通じて総合的に最も優秀な成績を収めた者及び本学学生として模範的行為のあった者

尾崎 真由子	田中 湖雪	田中 温人	馬場 啓介	廣野 祐太	※氏名 50 音順
--------	-------	-------	-------	-------	-----------

4 年間の学長賞・学部長賞受賞者のうち、最も社会に評価され、多摩大学の名誉を高めた活動（多摩大学体育会フットサル部）
小石 海羅緯（多摩大学体育会フットサル部キャプテン）

【2023 年度 社会・研究活動賞】

- ① 課外活動で顕著な成績をおさめた者または団体 ② 研究活動で顕著な成績をおさめた者または団体

学生氏名・団体名	選出理由	内 容
多摩祭実行委員会	①	学生生活・多摩キャンパスの活性化
多摩大学体育会フットサル部	①	全日本大学フットサル大会準優勝
多摩 SEEDS (樋笠・彩藤・出原ゼミ)	②	「モビリティコンテスト」で全国決勝に進出
梅澤佳子ゼミ：世代間交流八王子駅前サロンPJ	②	大学コンソーシアム世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト2023、八王子学生企画事業補助金採択
インターゼミ (サービス・エンターテインメント班)	②	「広島観光の可能性」の研究テーマで優れた研究成果を上げた。
内藤旭恵ゼミ八王子PJ チーム	②	大学コンソーシアム八王子学生企画事業補助金採択、八王子市産の多摩産材を用いたお香の開発
熊本 帆花	②	MOS 試験全科目合格
吉田 唯菜	②	MOS 試験全科目合格
河端 南	②	インターゼミ多摩学班ゼミ長と水害研究の推進
チョウ ゲンメイ	②	外国人向け防災の研究推進
パク ソヨン	②	留学生調査と取材結果のまとめの論文化
堀井 瞳来	②	多摩市の「子若条例」啓発活動に大きく貢献
中村その子ゼミナール	②	地域福祉活動に貢献した団体としての表彰
大林 愛礼	②	八王子学生CMコンテスト審査員賞を受賞
長田 華山	②	研究の推進および論文執筆の先導

【2023 年度 学長賞・学部長賞】

学長賞：多摩大学体育会フットサル部

学部長賞：多摩 SEEDS (樋笠・彩藤・出原ゼミ)、梅澤佳子ゼミ「世代間交流八王子駅前サロンPJ」、堀井 瞳来、大林 愛礼

2023 年度秋学期 成績優秀者奨学金奨学生

学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の規範となる学生に対して、多摩大学奨学金規程に基づき審査を経て区分に応じた奨学金を支給しています。

●経営情報学部

■ 1 年次

・区分 1

学生氏名
高橋 瞭

・区分 2

学生氏名
足達 航
小津 明
女部田 藍琉
小貫 快斗
小山 紗
桜木 侑生
佐藤 虎太郎
下川 里織
鈴木 夏生
関口 琢望
宅間 詩織
中野 諒
成田 涼介
花山 浩聖
樋口 心愛
樋口 和花
平山 遥人
藤間 南々子
若枝 遙

■ 2 年次

・区分 1

学生氏名
井上 慶太郎

・区分 2

学生氏名
安西 佑騎
五十嵐 虎壱
大石 真士
大内 一輝
大林 愛礼
岸 彩乃
サイ ウフ
坂田 啓壽
須崎 海玖亜
高橋 あんり
高橋 和磨
高橋 奈央
竹中 海翔
田所 優衣
田中 優菜
栃木 美咲
長谷 綾音
本田 隼大
吉田 真央

■ 3 年次

・区分 1

学生氏名
西出 琉人
松本 記恵

・区分 2

学生氏名
新井 健太
井上 保奈海
沖山 和樹
落合 俊介
加藤 健太
川越 翼
草刈 三結
工藤 夏実
公保 綾太
齊藤 夏美
阪本 彩歌
佐川 航太
佐藤 綾真
柴田 優吾
チョウ ゲンメイ

●グローバルスタディーズ学部

■ 1 年次

・区分 1

学生氏名
五十嵐 蓮

・区分 2

学生氏名
大島 夏鈴
小川 李央
佐藤 唯斗
高橋 聖成
CHEN ZIYU
中村 晃大
森山 涼
山田 柊斗
山田 陸翔

■ 2 年次

・区分 1

学生氏名
大澤 依吹

・区分 2

学生氏名
尾崎 菜瑠実
片山 璃昂
木村 泉葵
久保寺 もも
樋園 隼一
廣瀬 久流美
舟瀬 妃子
谷田部 まい子
山口 菜々

■ 3 年次

・区分 1

学生氏名
高田 晴高

・区分 2

学生氏名
青島 柊
藤川アサミナミ
岩澤 帆乃佳
加藤 泰介
加藤 真弓
佐々木 歩美
佐武 綾乃
佐藤 桃華
須貝 彩加

※氏名 50 音順

※学年は 2023 年度のものとなります

〈公式 SNS ご登録のお願い〉

多摩大学公式 SNS では、ゼミ活動やサークル、各種大学イベント、教員の研究など様々な発信をしています。フォローしていただき、学生や教員の活躍をぜひご覧ください。

公式 Instagram
(経営情報学部)



公式 Instagram
(グローバルスタディーズ学部)



公式 X



公式 Facebook



公式 YouTube



「4年間の大学生活で、人生の基盤となる力を身につけてほしい」

2024年4月5日(金)、パルテノン多摩 大ホールにて「2024年度多摩大学入学式」を挙行了しました。今年度の新入生は、経営情報学部(SMIS)371名、グローバルスタディーズ学部(SGS)169名、計540名です。

寺島実郎学長は、「多摩大学での大学生活は、人生の土台をつくるための大事な4年間となる。100歳人生、異次元の高齢化社会といわれる時代に皆さんがどのような仕事につき、どう生きていくのかを本気で考え、力をつけて巣立っていただきたいと心から思います。多摩大学はコンパクトな大学であり、実学志向の手づくり感が大きな特色。ゼミ中心で人材育成を目指したコース設定にも力を入れている。多摩大学のもう一つの個性はグローバルティとローカリティをかけ合わせたグローカリティ。地域社会の課題と向き合い、地域連携の中で学ぶことは、グローバル人材として世界に飛躍するための大きな力となる。また、社会科学系の学生として、時代が抱える課題に対する感受性を磨いてほしい。注視すべき課題の一つはアジアダイナミズム。アジアダイナミズムを吸収して、日本の力にしていかなければならない。もう一つは超DX社会。ネットワーク情報社会の中で、スマホ依存の人生ではなく、生身の人間として自分の頭で考える能力をぜひ身につけてください。大人になるとは、「今、ここ、私」からの脱却。自分自身を客観視し、自分以外のものにも視界を広げる。そのような力をつけるための土台づくりに多摩大学を大いに利用してもらいたい」と新入生を祝福しました。

学校法人田村学園 田村嘉浩理事長は、「現代の志塾である多摩大学には、高い志をもって実社会で活躍できる人材を育てる目標がある。皆さんの大学生活が有意義で充実したものとなるように、私の学生時代の経験からアドバイスします。一つ目は、とことん自分の頭で考えること。どう活用すれば世の中の役に立てるのかを考え抜いてほしい。二つ目は、今日できることは明日に先延ばししないこと。自分自身の力を信じて今を一杯やり切してほしい。三つ目は、国際的視野を広げること。チャンスを活かして世界の人とコミュニケーションをとってほしい。四つ目は、過去は変えられないが将来はいくらでも変えられるということ。学園歌の歌詞にあるように、大学生活が夢や希望とともに輝けるものとなるよう心からお祈り申し上げます。しっかり頑張ってください」とエールを送りました。

続いて来賓として登壇された阿部裕行 多摩市長は、「多摩地域が東京都に編入されてから130年。皆さんが生まれ育った地域の文化や歴史を知ることは、将来の目標を決める契機になるかもしれません。今、日本や世界で何が起きているのかを調べ、なぜそうなったのか思いを馳せてください。また、地元である多摩市も研究の素材としてぜひ活用してほしい。全力で楽しい大学生活を過ごしてください」、多摩信用金庫 金井雅彦理事長は、「身につけるべき知識と経験として、大切なことを三つお話します。一つ目はものの考え方。常に素直な心で考え、正しいことは何かを追求する。二つ目は情熱。何ごともあきらめないでやり抜く力。三つ目は能力。努力によって身につけることができ、様々な学問や経験により向上していく。積極的に自分は何をしたいのか、それを実現するために何が 필요한のか、目標に向かってあきらめずに努力していくことで、明るい未来が待っていると思います」と祝辞を述べました。

また、新入生代表の経営情報学部の原田佑晃さんは、高校在学中に9種類の資格検定に合格。グローバルスタディーズ学部の瀧本羽菜さんの目標は航空会社のグランドスタッフとして働くこと。「夢に向かってこれからの大学生活では勉学に励み日々精進していきたい」とそれぞれ大学生活への抱負と期待を述べました。起立して全員で学園歌を斉唱し、閉式となりました。

式終了後、経営情報学部、グローバルスタディーズ学部は各会場で、保証人向け説明会を行いました。保証人の皆様には、学部長挨拶と教員紹介、学生生活の過ごし方、教育方針と授業、就職状況と就職支援体制、留学などについて説明しました。



パルテノン多摩(大ホール)で行われた式典の様子



寺島実郎学長



田村嘉浩理事長



SMIS 新入生代表による挨拶



SGS 新入生代表による挨拶



経営情報学部 保証人向け説明会



グローバルスタディーズ学部 保証人向け説明会

人生の準備教育、キャリアデザイン

不動産会社に勤務後、国家公務員として内閣府に入府し、青年国際交流、男女共同参画、政府広報、迎賓館などの事業企画・運営を担当してきました。その他、総務省、国土交通省、警察庁に出身・在籍し、各種行政施策も担当いたしました。公務に従事しながら、青山学院大学大学院及び多摩大学大学院において国際政治経済、国際経営、人的資源管理論を学ぶことができました。多摩大学では、30年以上の職業経験、経営学を主体とした学術的知見、そして、人間の心・アイデンティに関わる国家資格キャリアコンサルタントの専門性を総合的に活かして、学生の皆さんに、人生の準備教育であるキャリアの形成と就業支援に取り組んでいきます。

フィールドワークに基づく現代欧州、米国論

私は、総合商社三井物産に勤務し、その間13年間の海外勤務を経験しました。ワシントンDC勤務では、ミレニアムのIT革命、11年間のロンドン勤務では、EUの東方拡大、リーマンショック、欧州ソブリン債務危機、英国のEU離脱、欧州グリーンディール、Covid-19、ウクライナ危機、等の環境変化に直面しました。これらの難題に対する企業にとっての「現実解」を求め、経済、産業、政治、歴史、地政学等の知識を総動員すると同時に、部下と共に担当地域を飛び回り、フィールドワークを通じて、三井物産の中長期のビジネス戦略策定支援に取り組まれました。

こうした激動の国際環境下における現場体験を、現代欧州論、現代米国論等の授業を通じ、学生の皆さんに伝えていきたいと考えています。

「人間学習者」と「人間先生」との関係から「教え方」を学ぶ

私は教員養成課程で「教育方法」や「特別活動・総合的な学習の時間の指導法」を担当しています。主に「教育工学」という学問になりますが、末武国弘先生は教育工学を「人間学習者と人間先生との関係を重視し、これを良くする方法を研究開発し、そのもっとも実践しやすい方法を探る工学」と仰いました。昨今、情報通信技術の活用が重視されるなかで、ベースとなるのは人間同士の関係だと考えています。また私は社会連携活動にも取り組んでいます。人と人との関係をつなぎ、紡いでいくことが教員生活のテーマのひとつです。学生の皆さんと現代の志塾・多摩大学で、人間「同志」の関係を育てていく所存です。

「キャリア」とは、人生そのもの

「キャリア」とは、work（仕事）だけでなく、life（生活）を含む生き方や人生と捉えます。大学生にとって、卒業後の進路を決定する就職活動は大イベントではありますが、そのノウハウだけに留まらず、自分に合う働き方・生き方を考えられるようになることが大切です。授業では、キャリアの考え方をはじめ、現代社会や今後の社会を予測しながら、働く環境（企業・組織）について学びます。また、図書館学修サービスでの個別相談では、学修、進路、学生生活全般の課題解決に向けて一緒に探索していきます。「自分はどう生きていきたいのか」を考え、行動に移していけるようサポートします。

会計はビジネスの共通言語

毎年、4月になると「決算書が読めるようになる」といったタイトルの雑誌を必ず目にします。多くのビジネスパーソンが「いつか会計を勉強しなければ」と思いながら、勉強する時間を持たず、会社の会議で自信なさそうに会計数値の説明をしています。会計はビジネスの共通言語です。全ての企業が同じ会計用語を使っています。だから、大学生のうちに会計を理解してしまえば、ビジネスの現場で必ず役に立ちます。私が担当する簿記・会計学では、ビジネスの現場で会計をどう使えばよいのか、どのような間違いが起きやすいのか、といった実務的な観点での講義を行います。

ヘルスデータサイエンスが描く健康社会の未来

私の専門はヘルスデータサイエンス（特に医療情報と自殺対策）です。ヘルスデータサイエンスは、医療・介護・スポーツなどさまざまな健康に関連する大量のデータを解析し、新しい洞察を得るための学問です。例えば、病院での診療記録や日々のバイタルデータ（血圧や心拍数など）、そして私たちの食事や睡眠といったライフログデータ、さらにはインターネットやソーシャルメディアの使用データを分析することで、私たちの健康を向上させるための効果的な介入戦略を構築することができます。授業では、まず基礎的な統計知識から多変量解析まで幅広くデータサイエンスのスキルセットを学びます。そして、データが語るストーリーを理解し、健康社会の未来を創造する力を養います。

在るべき学級担任像の探究

多くの教員は探究心をもち、子ども達のために研鑽を積み重ねています。その一人として、教育実践に目を向け、子ども達の実態をつぶさに観察したり、未然防止の観点から教育課題を考察したりし、学級担任としての在るべき姿を追い求めています。

授業では、主に教職課程を担当し、学校現場での教育実践を生かしながら、学生が教員として必要な知識や表現力が身に付く授業を展開したいと考えています。そして、教員としての確固たる自分の意見を持ち、自信をもって教壇に立てるようお願い、支援していく所存です。

越田 辰宏

(コシタ タツヒロ)

特命教授

〈プロフィール〉

青山学院大学大学院国際政治経済研究科修士課程修了、多摩大学大学院経営情報学研究科修士課程、多摩大学大学院経営情報学研究科修士課程後期単位取得満期退学。内閣府参事官補佐を経て2024年4月より現職。



平石 隆司

(ヒライシ リュウジ)

特命教授

〈プロフィール〉

慶応義塾大学法学部政治学専攻、国際関係論専攻。三井物産株式会社調査情報部、三井物産戦略研究所国際情報部にて、日米欧を中心に、地域をまたいだ政治、経済、産業、貿易、企業の分析に取り組み、経営幹部、事業部との密な意見交換に基づき、三井物産の経営環境調査や中長期のビジネス戦略策定支援に従事。この間、米国ワシントンDC（2年間）、英国ロンドン（11年間）勤務。2024年度より現職。



杵淵 洋美

(キネブチ ヒロミ)

准教授

〈プロフィール〉

早稲田大学教育学部国語国文学科卒業後、ラジオ局、広告代理店、生命保険会社の宣伝担当といった広告業界に勤務。学校法人敬心学園、新潟医療福祉大学を経て現職。早稲田大学大学院教育学研究科修士後期課程に在籍中。



葛本 幸枝

(クズモト サチエ)

准教授

〈プロフィール〉

法政大学大学院キャリアデザイン学研究科修士課程修了、修士（キャリアデザイン学）。公認心理師、キャリアコンサルタント。初職はNEC日本電気株式会社 労務・教育に従事。2006年より大学や企業でのキャリア支援を開始、公立大学法人宮城大学特任講師、多摩大学非常勤講師などを経て現職。



望月 明彦

(モチツキ アキヒコ)

准教授

〈プロフィール〉

早稲田大学政治経済学部卒業、慶応義塾大学大学院経営管理研究科（ビジネススクール）修了。公認会計士。上場企業や投資ファンドの監査役、企業向けの研修講師等も兼務。2024年4月より現職。



新井 崇弘

(アライタカヒロ)

専任講師

〈プロフィール〉

慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究科修士課程修了、同博士課程。千葉大学医学部附属病院、済生会保健・医療・福祉総合研究所、厚生労働大臣指定法人のちを支える自殺対策推進センターなどを経て現職。



大竹 英理子

(オオtake エリコ)

教授

〈プロフィール〉

明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業、埼玉大学教育専攻科教育心理学コース修了。東京都立中学校教員。在職中、日本女子大学大学院家政学研究科通信教育課程家政学専攻修士課程（学校教育領域）修了、修士（家政学）、帝京科学大学非常勤講師。2024年度より現職。



キャリアサポート

多摩大学キャリア支援課では、学生一人一人にきめ細やかなサポートを行っています。経営情報学部ではゼミ担当教員とキャリア支援課職員が常に情報を共有しながら、各学生の個性に合った指導をしています。定期的に就職に関するセミナーを開催し、ご家族にも就職活動へのご理解をいただくことで、就職活動に取り組みやすい環境を整えています。また、グローバルスタディーズ学部では、就職委員会とキャリア支援課が連携し少人数制の特性を生かした就職支援を行っています。正課インターンシップ等の低学年次からのキャリア科目を通じ早期の就業観、労働観の醸成を図り、3年次以降は就職活動本番を見据えたキャリア支援講座等の充実したプログラムによる支援に繋げ、学生をサポートします。

2023年度就職状況

※2024年5月1日現在

経営情報学部

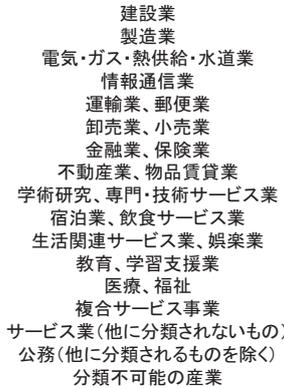
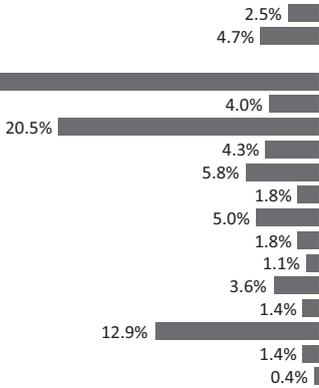
【業界別内訳】

グローバルスタディーズ学部

※就職決定者／
就職希望者(%)

就職決定率
98.6%※
(2023年度卒業生)

卒業生、学位授与者:325名
就職希望者:282名
就職決定者:278名



就職決定率
97.4%※
(2023年度卒業生)

卒業生、学位授与者:140名
就職希望者:117名
就職決定者:114名

【主な就職先】(50音順)

〈経営情報学部〉 ㈱アイネット、朝日信用金庫、医療法人徳洲会東京西徳洲会病院、学校法人聖マリアンナ医科大学、川崎信用金庫、グローバルセキュリティーエキスパート㈱、㈱ケーユーホールディングス、京西テクノス㈱、㈱サイバーエージェント、さがみ農業協同組合 (JA さがみ)、さわやか信用金庫、静岡県警察、城南信用金庫、㈱タカキ、高梨乳業㈱、中央労働金庫、東京ガスネットワーク㈱、東京東信用金庫、東京ロジファクトリー㈱、㈱東計電算、日酸 TANAKA ㈱、八王子市役所、㈱日立プラントサービス、府中市役所、㈱ミヤザワ、目黒信用金庫、大和市役所、渡辺パイプ㈱
 〈グローバルスタディーズ学部〉 愛川町役場、㈱伊東園ホテルズ、ANA エアポートサービス㈱、ANA 沖縄空港㈱、ANA 関西空港㈱、神奈川県教育委員会 (厚木市立睦合中学校、小田原市酒匂中学校、中井町立中井中学校、葉山町立葉山中学校)、京王観光㈱、さがみ農業協同組合、㈱スズキ自販湘南、㈱鈴廣蒲鉾本店、全日本空輸㈱、㈱第一コンピュータサービス、高見㈱、東京ラチェーター製造㈱、トランスコスモス㈱、内外日東㈱、日本航空㈱、羽田空港サービス㈱、ヒルトン横浜、㈱ブルックスブラザーズジャパン、㈱プロンコビリー、㈱ベネッセスタイルケア、㈱星野リゾート・マネジメント、ボストン・サイエンティフィックジャパン㈱、㈱丸和運輸機関、横浜市教育委員会 (横浜市立根岸中学校)、㈱ロピア、㈱ロフト

令和5(2023)年度学校法人田村学園概要

多摩大学の経営母体である学校法人田村学園は、私立学校として積極的に情報開示をしております。最新の田村学園概要は、以下のとおりです。

(学校法人 田村学園 貸借対照表)

貸借対照表

令和6年3月31日 (令和4年度)

(単位:百万円)

資産の部	前年度末	本年度末	増減
科目			
固定資産	25,241	25,139	△102
有形固定資産	20,355	20,161	△194
土地	12,996	12,996	0
建物	6,052	5,888	△164
その他	1,307	1,277	△30
特定資産	2,492	2,592	100
第2号基本金引当特定資産	2,400	2,500	100
第3号基本金引当特定資産	92	92	0
その他の固定資産	2,394	2,386	△8
電話加入権	5	5	0
その他	2,389	2,381	△8
流動資産	5,237	5,622	385
現金預金	4,958	5,306	348
その他	279	316	37
資産の部合計	30,478	30,761	283
負債の部			
科目			
固定負債	517	533	16
長期借入金	1	1	0
退職給与引当金	508	525	17
その他	8	7	△1
流動負債	1,251	1,292	41
短期借入金	1	1	0
前受金	717	763	46
その他	533	528	△5
負債の部合計	1,768	1,825	57
純資産の部			
科目			
基本金	34,786	35,001	215
第1号基本金	31,942	32,057	115
第2号基本金	2,400	2,500	100
第3号基本金	92	92	0
第4号基本金	352	352	0
繰越収支差額	△6,076	△6,065	11
翌年度繰越収支差額	△6,076	△6,065	11
純資産の部合計	28,710	28,936	226
負債及び純資産の部合計	30,478	30,761	283

(令和5年度 学校法人 田村学園 計算書類 抜粋)

〔資金収支〕

(資金収入) (単位:百万円)

学生生徒等納付金収入	3,676
手数料収入	89
寄付金収入	61
補助金収入	1,343
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	207
受取利息・配当金収入	61
雑収入	146
その他	65
前年度繰越支払資金	4,958
合計	10,606

〔資金支出〕

(資金支出) (単位:百万円)

人件費支出	3,164
教育研究経費支出	1,257
管理経費支出	478
借入金等利息支出	1
施設関係支出	129
設備関係支出	95
その他	176
翌年度繰越支払資金	5,306
合計	10,606

(令和6年度)

・学生・生徒等(人)

田村学園全体
多摩大学 学部
経営情報学部
グローバルスタディーズ学部
多摩大学 大学院
高校(2)・中学(2)・幼稚園(3)

4,527
1,400
588
125
2,414

・キャンパス面積(㎡)

田村学園全体
多摩大学
その他

115,932
44,913
77,019

〔事業活動収支〕

(単位:百万円)

学生生徒等納付金	3,676
手数料	89
寄付金	57
経常費等補助金	1,291
付随事業収入	207
雑収入	146
教育活動収入合計	5,466
人件費	3,181
教育研究経費	1,647
管理経費	517
その他	12
教育活動支出合計	5,357
教育活動収支差額	109
教育活動外収入	60
教育活動外支出	0
教育活動外収支差額	60
経常収支差額	169
特別収入	58
特別支出	1
特別収支差額	57
基本金組入前当年度収支差額	226
基本金組入額	△215
当年度収支差額	11
前年度繰越収支差額	△6,076
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	△6,065
(参考)	
事業活動収入 合計	5,584
事業活動支出 合計	5,358

以上、令和6年5月1日 現在

都立秋留台高等学校、都立五日市高等学校と教育交流協定を締結

2024年4月4日、東京都立秋留台高等学校（東京都あきる野市、校長：中村勝徳氏）と多摩大学は、相互の交流を通じて生徒の視野を広げ、学習意欲を高めるとともに、能動的に活動できる人材を協働で育成するため、秋留台高校にて教育交流協定を締結しました。

また4月30日には、東京都立五日市高等学校（東京都あきる野市、校長：松崎真理子氏）とも教育交流協定を締結しました。両校とは今後、「探究学習」における情報交換および交流、授業等の協力、キャリア支援等の教育交流活動に取り組んでまいります。



出席者の集合写真(秋留台高校)



出席者の集合写真(五日市高校)

スイスのBHMSとの学術提携によりダブルディグリーが可能になりました

2024年3月25日、グローバルスタディーズ学部（以下、SGS）は、スイス・ルツェルンにあるビジネス&ホテルマネジメントスクール（以下、BHMS）と協力覚書を結びました。この提携により、SGSの学生がBHMSの提供する学位も同時に取得できるダブルディグリー制度が可能となりました。一定の条件をクリアすればSGSで3年間、BHMSで1年間学ぶことにより双方の高等教育機関から学位を取得することが出来ます。この提携により相互交流が促進され、両校の学生や教員が異なる文化や学問を学ぶことが出来るようになりました。BHMSの学生もSGSの学生、教職員と交流を行うことにより、日本の文化やビジネスに関する知識を深めることができます。



ジェロントロジー企画第12弾 山梨県南アルプス市で「田植え体験 × 講座」を実施

2024年5月12日（日）、「多摩大学 寺島実郎監修リレー講座」の受講者を対象に、農業体験を通して、リタイア後の世代が新たな社会参画を考える企画として、山梨県南アルプス市との連携で「田植え体験 × 講座」を実施しました。当日は、天候にも恵まれ、南アルプス市の甲府盆地を一望できる「中野の棚田」にて、南アルプスサンクチュアリーガーデンの上田睦美様、南アルプス棚田を愛する会の皆様に田植えの要領を教えていただき、20名の参加者が「田植え」体験に取り組みました。

膝元まで達する田んぼの深い水の中で、泥に足を取られながら、かがんだ姿勢を維持し、後退しながら稲を一列に植える作業は思ったよりも難しく、農作業の大変さを楽しく経験することができました。一般参加者の皆さん、教職員、多摩大生でなんとか苗を植えることができました。田植えの後は、午後の講座の会場である「南アルプス子どもの村小学校・中学校」に移動し、南アルプス市の食材を使った「ふるりのめぐみ」のお弁当を参加者みんなで美味しくいただきました。

その後、南アルプス子どもの村小学校 阿部 和樹 校長より「自由な子どもを育てる教育」のテーマで、学校の取り組みについて紹介いただきました。始めの校内ツアーでは、クラスルームや“プロジェクト”と呼ばれる体験学習で児童・生徒たち自身が制作した学校施設を見学し、日頃の学校生活の一端を垣間見ることができました。講演では、子どもが自ら学ぶ姿勢を大切にしていること、感情・知性・社会性の面において自由な人間への成長を支援していること等をご説明いただき、参加者にとって学びの多い時間となりました。

今回のジェロントロジー企画は、第一次産業に触れることにより、生産活動へ携わることができる貴重な経験となりました。



南アルプス子どもの村小学校 阿部校長

地域の活性化、魅力化に取り組む「奥多摩プロジェクト」



経営情報学部 松本祐一ゼミでは、事業開発を通じた地域課題の解決をゼミの活動テーマとして実践的な地域密着型の研究を行っています。過疎化などの課題を抱える奥多摩町を活動フィールドとして地域の活性化のための商品開発、拠点運営、イベントなどの魅力の発信でみんなでつくる奥多摩をコンセプトに奥多摩プロジェクトに取り組んでいます。

松本ゼミでは、2016年度より様々な企画に取り組み、2020年にゼミを事業部制にして、ガチャポン事業部、イベント事業部、スーパー事業部に分かれて活動を行い、学生の提案でスーパー設立を目指してきましたが、コロナ禍で止む無く活動が中断。その際に、新たな企画として「新しい奥多摩を作る会」に参画、地域の方々から応援をいただきながら奥多摩町で活動を継続してきました。

2022年9月には、奥多摩町と多摩大学は包括連携協定を締結することで、大学の研究・教育資源の活用を図りつつ、行政や地域事業者等との連携を深めながら、奥多摩町の多機能型地域活性化拠点のオープンを目指して、多様な活動を行ってきました。

2024年3月25日には、地域拠点構想が結実し町内の空き店舗を活用した「奥多摩AUBA（アウバ）」が新設されるに至りました。奥多摩AUBAは、奥多摩町の地域在住者と来訪者が気軽に交流できる多機能型活性化拠点として、情報の発信、交換を行い、様々なものが“あう”“会う、合う、逢う、会う”機会を創出する場として地域のハブとなる施設を目指しています。今後は、ゼミ内の3事業部により奥多摩活性化の活動を継続する予定で、拠点運営事業部は、「奥多摩アウバ」にて試験的な事業や取り組みを行いながら本格稼働について、奥多摩町と共同で今後の運用に向けた議論を重ねています。

また、松本ゼミでは奥多摩の地域活性化を地域発の商品や地域の魅力化、町内への観光という限定された活性化の視点から、多摩川流域全般を俯瞰して流域内の異なる地域の特産物、文化、人の流れを図りながら魅力を高め合う相乗効果による活性化の視点にシフトし、多摩川流域の異なる地域をつなげる両地域活性化に取り組む新たな試みを開始しました。



セレモニー参加者の集合写真

2023年度から聖蹟桜ヶ丘において、京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市）と株式会社スイベルアンドノット（本社：東京都武蔵野市）と連携し、せいせきの丘プロジェクト実行委員会としてまちの活性化に取り組み、京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターのイベント企画に参画、オリジナル商品の開発や運営に携わっています。2023年9月のイベントでは、奥多摩の新鮮なわさびとゆずを使用したオリジナルビール「Okutama Yuzu/Wasabi Beer」の企画・開発、販売、奥多摩町「わさび食堂」とコラボして、おつまみ「わさっぺ！」の販売を行い、2024年4月には前年度に引き続きイベント出店し、奥多摩産ヒノキの上品な香りを抽出したクラフトビール「せいせきひのきエール」を発売するなど奥多摩町の魅力を発信するとともに両地域の交流を図るための活動を積極的に行っています。



湘南キャンパスのカフェテリアがリニューアルオープン！

普段ご利用される学生の皆様をはじめ、湘南キャンパスにお越しの皆様へ豊かなひとときを過ごしていただきたく、カフェテリア（学生食堂）のリニューアルを行いました。以前は1品のみだった日替わりメニューを4種類に増やし、ユニークな「パワーサラダ」や、「デザート」などの新メニューをご用意しました。

開放感に溢れる空間と、リラックスして歓談できるスペースの両立を目指し、座席のレイアウトも一新しました。心地よい空間は、食事・交流・学習など、どんな場面でも利用者様の時間を充実させてくれます。

新しいカフェテリアは、2024年4月よりオープンしています。今回のリニューアルだけでなく、ハロウィンなどのイベントデーに「特別なシーズンメニュー」の提供を計画しているなど、これからも皆様がカフェテリアにご注目いただけるよう、頑張っています。

一般の皆様もご利用いただけますので、ぜひご体験ください。

■営業時間 月～金曜日（*） 11:30～14:30

*授業がない日、夏季休業期間・年末年始休業期間等 Campus close の日を除く
〈MENU〉日替わりランチ 450円／日替わりポウル 430円 ほか多数



開放感いっぱいのオープンテラス席



友達とハッピーなボックスシート！



栄養満点、彩り豊かな日替わりランチ



二郎系を彷彿させる大ボリューム！